

105-152

問題文

副交感神経系に作用する薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ピロカルピンは、アセチルコリンM₃受容体を刺激して瞳孔散大筋を収縮させる。
2. アンペノニウムは、コリンエステラーゼを不可逆的に阻害して重症筋無力症を改善する。
3. チオトロピウムは、アセチルコリンM₃受容体を遮断して気管支平滑筋を弛緩させる。
4. トロピカミドは、アセチルコリンM₃受容体を刺激して毛様体筋を収縮させる。
5. オキシブチニンは、アセチルコリンM₃受容体を遮断して排尿筋を弛緩させる。

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

ピロカルピンは「直接型コリン作動薬」です。記述は「散大筋」を収縮 とあるので、瞳がバッチリするという記述です。瞳がバッチリするのは「抗コリン薬」です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

アンペノニウムは間接的コリン作動薬です。「可逆的」にコリンエステラーゼを阻害します。「不可逆的」ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが「トロピ」が入っているので「抗コリン」です。M 受容体の「刺激」ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 3,5 です。

参考)